

2020年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年8月25日

上場会社名 五洋インテックス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7519 URL http://www.goyointex.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)川勝 宣昭
 問合せ先責任者 (役職名)取締役 (氏名)菊地 徹 (TEL) (03)6281-9861
 定時株主総会開催日 2020年6月30日 配当支払開始予定日 —
 有価証券報告書提出予定日 2020年9月24日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期の連結業績(2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	1,207	△21.2	△296	—	△296	—	△280	—
2019年3月期	1,531	△12.4	△294	—	△312	—	△418	—
(注) 包括利益	2020年3月期		△285百万円 (—%)		2019年3月期		△421百万円 (—%)	

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	△27.75	—	△51.3	△28.2	△24.6
2019年3月期	△41.45	—	△46.5	△20.5	△19.2

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産	
	百万円	百万円	%	円 銭	
2020年3月期	794	404	50.9	40.03	
2019年3月期	1,310	688	52.6	68.20	
(参考) 自己資本	2020年3月期		404百万円	2019年3月期	688百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	△304	344	△116	79
2019年3月期	△230	△5	△32	154

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2020年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00		—	

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

現時点では業績に影響を与える未確定な要素が多いため、業績予想を数値で示すことが困難な状況であります。
 連結業績予想については、合理的に予測可能となった時点で公表させていただきます。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有
新規 1社（社名）五洋亜細亜株式会社、除外 1社（社名）株式会社キュアリサーチ

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期	10,101,585株	2019年3月期	10,101,585株
② 期末自己株式数	2020年3月期	3,595株	2019年3月期	3,410株
③ 期中平均株式数	2020年3月期	10,098,012株	2019年3月期	10,098,827株

(参考) 個別業績の概要

1. 2020年3月期の個別業績（2019年4月1日～2020年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	1,002	△17.6	△317	—	△305	—	△229	—
2019年3月期	1,216	△9.1	△257	—	△250	—	△526	—

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期	△22.76	—
2019年3月期	△52.09	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円 銭		
2020年3月期	616		370		60.2	36.74		
2019年3月期	1,139		606		53.2	60.06		

(参考) 自己資本 2020年3月期 370百万円 2019年3月期 606百万円

2. 2021年3月期の個別業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

現時点では業績に影響を与える未確定な要素が多いため、業績予想を数値で示すことが困難な状況であります。
個別業績予想については、合理的に予測可能となった時点で公表させていただきます。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

2020年3月期の業績におきましては、2020年9月23日開催予定の臨時株主総会にてご報告させていただきます。

当社は、2019年7月1日付けで普通株式1株につき普通株式1株に5株の割合で株式分割を行っております。2019年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益、1株当たり純資産、期末発行済株式数（自己株式を含む）、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	13
(重要な後発事象)	14

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度においては、米国を中心とした貿易摩擦の強まりが懸念され、世界経済は低迷しました。我が国の経済も楽観できず、10月の消費税増税の駆け込み需要の反動や自然災害により、景気回復に影響が出ています。さらに、新型コロナウイルスの影響により、国内消費は落ち込んでいる状況です。このような状況のもと、当社グループを取り巻く事業環境は、室内装飾品関連（カーテン等）市場に影響を及ぼします新設住宅着工総戸数が減少している状態にあります。

売上高は、室内装飾品関連では主に建設が減少しているマンションの業者への販売が振るわず減少となり、メディカル関連では2019年8月から五洋亜細亜株式会社（旧MNC株式会社）が本格的にメディカルツーリズムサービスを開始しましたが、2020年1月からは新型コロナウイルスによる旅行制限の影響を受け、全体では大幅な減少となりました。

以上の結果、売上高は前年同期比21.2%減の1,207百万円、営業損失は296百万円（前連結会計年度は294百万円の営業損失）、経常損失は296百万円（前連結会計年度は312百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する当期純損失は280百万円（前連結会計年度は418百万円の親会社株主に帰属する当期純損失）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(室内装飾品関連)

売上高は、建設が減少しているマンションの業者への販売が振るわず減少いたしました。

以上の結果、売上高は前年同期比14.4%減の1,192百万円、営業損失は284百万円（前連結会計年度は243百万円の営業損失）となりました。

(メディカル関連)

売上高は、五洋亜細亜株式会社が8月から稼働しましたが、株式会社キュアリサーチが連結子会社から除外されたこと、及び、新型コロナウイルスによる旅行制限の影響で減少しました。

以上の結果、売上高は前年同期比89.3%減の14百万円、営業損失は12百万円（前連結会計年度は51百万円の営業損失）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

① 資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べ56百万円減少して671百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金が80百万円減少、現金及び預金が75百万円減少、未収入金が54百万円増加、商品が22百万円増加したことなどによります。固定資産は、保有不動産の売却により459百万円減少して122百万円となりました。これは、土地が289百万円、建物及び構築物が134百万円減少したことなどによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ515百万円減少し、794百万円となりました。

② 負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べ121百万円減少して333百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が80百万円減少、1年内返済予定の長期借入金が71百万円減少したことなどによります。固定負債は、109百万円減少して56百万円となりました。これは、長期借入金が93百万円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ231百万円減少し、389百万円となりました。

③ 純資産

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ284百万円減少して404百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する当期純損失が280百万円となったことなどによります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における「営業活動によるキャッシュ・フロー」は304百万円の支出、「投資活動によるキャッシュ・フロー」は344百万円の収入、「財務活動によるキャッシュ・フロー」は116百万円の支出となり、「現金及び現金同等物の期末残高」は前連結会計年度末に比べ75百万円減少し、79百万円となりました。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

当連結会計年度における営業活動によるキャッシュ・フローは、304百万円の支出（前連結会計年度は230百万円の支出）となりました。主な収入は、売上債権の減少75百万円、その他の負債の増加57百万円、支出は、税金等調整前当期純損失267百万円、仕入債務の減少67百万円であります。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

当連結会計年度における投資活動によるキャッシュ・フローは、344百万円の収入（前連結会計年度は5百万円の支出）となりました。主な収入は、有形固定資産の売却による収入427百万円、貸付金の回収による収入45百万円、支出は、貸付けによる支出48百万円、その他の支出64百万円であります。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

当連結会計年度における財務活動によるキャッシュ・フローは、116百万円の支出（前連結会計年度は32百万円の支出）となりました。主な収入は、短期借入れによる収入158百万円、支出は、長期借入金の返済による支出165百万円、短期借入金の返済による支出108百万円であります。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、雇用や所得環境の改善により、景気は緩やかな回復傾向にあったものの、貿易摩擦の強まりや2019年10月に行われた消費税率引き上げに伴う景気の減速、さらには新型コロナウイルスの世界的な感染拡大による経済活動の停滞が心配されております。

室内装飾品関連（カーテン等）業界におきましては、新設住宅着工総戸数は減少しており、消費税率引き上げや、新型コロナウイルスの感染拡大防止のための外出自粛による消費マインドの低下と消費行動の変化が、その後と与える影響について不透明であります。

このような状況の下、室内装飾品関連においては2018年11月に大幅改訂しました「サザンクロス」による継続的な売上確保と、2021年を予定している「インハウス」の見本帳改訂で売上高増加を目指すとともに、メディカル関連においては、新型コロナウイルスの感染拡大の情勢を見極めながら、グループ全体の収益改善・拡大を図ってまいります。

また、喫緊の課題として経営体制の刷新、立て直しが必要な状況の下、経営陣の全面刷新による経営体制の立て直し及び内部管理体制の改善を実施してまいります。

(5) 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、前連結会計年度までの5連結会計年度に引き続き、当連結会計年度においても継続的に営業損失を計上するとともに重要な営業損失を計上しました。また、金融機関からの新たな資金調達が困難な状況にあります。

これらにより当社グループには継続企業の前提に関する重要な疑義を生じさせる事象又は状況が存在してまいります。

当該状況を解消又は改善するための対応策については、「注記事項 継続企業の前提に関する注記」に記載しておりますが、これらの対応策は実施途上にあることから、現時点においては、継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められます。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、主に国内において事業活動を行っていることから、当面は、日本基準に基づき連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、I F R Sの適用に関しましては、国内外の諸情勢を考慮のうえ、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	167,047	91,449
受取手形及び売掛金	281,304	200,637
商品	242,580	265,573
仕掛品	7,452	-
原材料及び貯蔵品	5,241	2,843
1年内回収予定の長期貸付金	378	-
未収入金	745	54,967
その他	25,575	56,388
貸倒引当金	△2,153	△210
流動資産合計	728,171	671,650
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	140,631	6,568
機械装置及び運搬具（純額）	0	-
土地	289,500	-
リース資産（純額）	9,423	-
その他（純額）	8,806	0
有形固定資産合計	448,361	6,568
無形固定資産		
商標権	88	-
ソフトウェア	20,085	-
無形固定資産合計	20,174	-
投資その他の資産		
投資有価証券	22,780	-
破産更生債権等	120,269	87,776
差入保証金	87,320	87,145
その他	3,209	28,841
貸倒引当金	△120,269	△87,776
投資その他の資産合計	113,309	115,987
固定資産合計	581,845	122,555
資産合計	1,310,017	794,206

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	145,993	65,097
短期借入金	90,000	140,000
1年内返済予定の長期借入金	79,606	8,350
リース債務	2,285	2,156
未払金	53,739	60,283
未払法人税等	14,728	15,855
未払消費税等	5,185	15,412
賞与引当金	13,350	8,035
その他	50,408	18,272
流動負債合計	455,296	333,464
固定負債		
長期借入金	93,867	-
リース債務	7,091	4,934
繰延税金負債	2,232	-
退職給付に係る負債	45,195	36,911
役員退職慰労引当金	5,324	-
資産除去債務	12,331	14,638
固定負債合計	166,043	56,484
負債合計	621,340	389,949
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,384,509	1,384,509
資本剰余金	697,805	699,277
利益剰余金	△1,397,465	△1,677,636
自己株式	△1,695	△1,893
株主資本合計	683,154	404,256
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,522	-
その他の包括利益累計額合計	5,522	-
純資産合計	688,677	404,256
負債純資産合計	1,310,017	794,206

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	1,531,973	1,207,281
売上原価	777,847	612,202
売上総利益	754,125	595,079
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	340,269	248,756
賞与	3,538	52
賞与引当金繰入額	21,994	6,885
貸倒引当金繰入額	14,786	△1,894
退職給付費用	7,512	7,446
業務委託費	55,069	114,425
賃借料	85,231	158,689
減価償却費	31,579	1,720
のれん償却額	-	343
その他	488,894	355,593
販売費及び一般管理費合計	1,048,876	892,018
営業損失(△)	△294,751	△296,939
営業外収益		
受取配当金	793	842
為替差益	1,222	1,574
貸倒引当金戻入額	-	25
その他	10,642	8,567
営業外収益合計	12,658	11,009
営業外費用		
支払利息	5,747	6,856
売上割引	844	510
貸倒引当金繰入額	15,995	-
その他	7,579	3,591
営業外費用合計	30,167	10,958
経常損失(△)	△312,260	△296,887
特別利益		
固定資産売却益	-	26,056
関係会社株式売却益	-	59,974
投資有価証券売却益	-	7,482
特別利益合計	-	93,514
特別損失		
固定資産除却損	774	-
貸倒引当金繰入額	10,200	8,606
減損損失	48,653	35,195
過年度決算訂正関連費用	36,995	-
上場契約違約金	-	20,000
特別損失合計	96,623	63,801
税金等調整前当期純損失(△)	△408,884	△267,175
法人税、住民税及び事業税	9,761	12,996
法人税等合計	9,761	12,996
当期純損失(△)	△418,645	△280,171
親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△418,645	△280,171

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純損失 (△)	△418,645	△280,171
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,033	△5,522
その他の包括利益合計	△3,033	△5,522
包括利益	△421,678	△285,694
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△421,678	△285,694

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額		純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	1,384,509	697,805	△978,819	△747	1,102,747	8,555	8,555	1,111,303
当期変動額								
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△418,645		△418,645			△418,645
自己株式の取得				△947	△947			△947
連結子会社の増資による持分の増減	-	-			-			-
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						△3,033	△3,033	△3,033
当期変動額合計	-	-	△418,645	△947	△419,593	△3,033	△3,033	△422,626
当期末残高	1,384,509	697,805	△1,397,465	△1,695	683,154	5,522	5,522	688,677

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本					その他の包括利益累計額		純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	1,384,509	697,805	△1,397,465	△1,695	683,154	5,522	5,522	688,677
当期変動額								
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△280,171		△280,171			△280,171
自己株式の取得				△197	△197			△197
連結子会社の増資による持分の増減		1,472			1,472			1,472
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						△5,522	△5,522	△5,522
当期変動額合計	-	1,472	△280,171	△197	△278,897	△5,522	△5,522	△284,420
当期末残高	1,384,509	699,277	△1,677,636	△1,893	404,256	-	-	404,256

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純損失 (△)	△408,884	△267,175
減損損失	48,653	35,195
減価償却費	31,579	1,720
のれん償却額	-	343
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	40,966	6,662
賞与引当金の増減額 (△は減少)	2,150	△714
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	4,164	△8,284
受取利息及び受取配当金	△2,038	△1,275
支払利息	5,747	6,856
過年度決算訂正関連費用	36,995	-
投資有価証券売却損益 (△は益)	-	△7,482
有形固定資産売却損益 (△は益)	-	△26,056
有形固定資産除却損	774	-
関係会社株式売却損益 (△は益)	-	△59,974
売上債権の増減額 (△は増加)	10,517	75,455
たな卸資産の増減額 (△は増加)	48,437	△20,594
仕入債務の増減額 (△は減少)	18,540	△67,532
未払消費税等の増減額 (△は減少)	2,785	7,590
その他の資産の増減額 (△は増加)	△19,753	△15,283
その他の負債の増減額 (△は減少)	10,901	57,753
小計	△168,461	△282,795
利息及び配当金の受取額	2,037	1,274
利息の支払額	△5,729	△6,856
法人税等の支払額	△20,973	△15,775
過年度決算訂正関連費用の支払額	△36,995	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	△230,122	△304,153
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	11,089	-
有形固定資産の取得による支出	△58,011	△17,724
有形固定資産の売却による収入	-	427,468
無形固定資産の取得による支出	△3,800	△250
投資有価証券の売却による収入	-	22,507
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	-	△2,698
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	-	△20,983
貸付けによる支出	-	△48,000
貸付金の回収による収入	50,120	45,161
その他の収入	12,814	3,630
その他の支出	△17,686	△64,422
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,472	344,688

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	90,000	158,000
短期借入金の返済による支出	△56,000	△108,000
長期借入れによる収入	30,000	-
長期借入金の返済による支出	△92,870	△165,123
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△2,251	△2,285
自己株式の取得による支出	△947	△197
非支配株主からの払込みによる収入	-	1,472
財務活動によるキャッシュ・フロー	△32,069	△116,133
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△267,664	△75,598
現金及び現金同等物の期首残高	422,600	154,935
現金及び現金同等物の期末残高	154,935	79,336

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当社グループは、前連結会計年度までの5連結会計年度に引き続き、当連結会計年度においても継続的に営業損失を計上するとともに重要な営業損失を計上しました。また、金融機関からの新たな資金調達が困難な状況にあります。これらにより当社グループには継続企業の前提に関する重要な疑義を生じさせる事象又は状況が存在しております。

当該状況を解消又は改善するために以下の対応策を継続して実施しております。

室内装飾品関連は、①経営陣の刷新に伴うトップセールスによる新規顧客の開拓、②積極的なマーケティング及びデジタルマーケティングによる既存顧客の取引額のアップ、③パートナー（代理店）戦略の強化、④営業手法において顧客関係性マネジメント（CRM）の徹底及び営業支援システム（SFA）の導入により業務効率化。⑤メインブランド「サザンクロス」見本帳の大幅改訂により、一定の売上高は確保致しました。また、当第4四半期以降におきましては、「インハウス」見本帳の改訂に着手し、販売強化を実施して売上高の増加を図っています。

また、資金面におきましては増資または借入による長期安定資金の調達を検討し、投資家や事業会社と協議を進めてまいります。

しかしながら、売上高の増加に係る対応策につきましてはすでに着手しているものの、成果が出るまでに一定の期間を要します。また、資金調達に関しては調達先との協議に遅延が生じる恐れがあります。以上により、現時点においては、継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められます。

なお、連結財務諸表は継続企業を前提として作成されており、継続企業の前提に関する重要な不確実性の影響を連結財務諸表には反映しておりません。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、商品の種類及び販売市場別を基本に、主にカーテン及びカーテン生地を中心とした「室内装飾品関連」とメディカルツーリズムに関わるサービス事業を中心とした「メディカル関連」の2つのセグメントから構成されており、事業ごとに包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益又は損失（△）ベースの数値であります。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			連結損益計算書 計上額 (注) 1
	室内装飾品 関連	メディカル 関連	計	
売上高				
外部顧客への売上高	1,392,692	139,280	1,531,973	1,531,973
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—
計	1,392,692	139,280	1,531,973	1,531,973
セグメント損失(△)	△243,437	△51,313	△294,751	△294,751

(注) 1 セグメント損失(△)は、連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

2 セグメント資産及び負債は、意思決定するうえで重要でないことから記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			連結損益計算書 計上額 (注)1
	室内装飾品 関連	メディカル 関連	計	
売上高				
外部顧客への売上高	1,192,411	14,870	1,207,281	1,207,281
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—
計	1,192,411	14,870	1,207,281	1,207,281
セグメント損失(△)	△284,690	△12,248	△296,939	△296,939

(注)1 セグメント損失(△)は、連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

2 セグメント資産及び負債は、意思決定するうえで重要でないことから記載を省略しております。

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)		当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)	
1株当たり純資産額	68.20円	1株当たり純資産額	40.03円
1株当たり当期純損失金額	41.45円	1株当たり当期純損失金額	27.75円
なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、1株当たり当期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。		なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、1株当たり当期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。	

(注)1 当社は、2019年7月1日付けで普通株式1株につき普通株式5株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり純資産額及び1株当たり当期純損失金額を算定しております。

2 算定上の基礎は、次のとおりであります。

1 1株当たり純資産額

項目	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
連結貸借対照表の純資産の部の合計額(千円)	688,677	404,256
普通株式に係る純資産額(千円)	688,677	404,256
普通株式の発行済株式数(株)	10,101,585	10,101,585
普通株式の自己株式数(株)	3,410	3,595
1株当たり純資産額の算定に用いられた普通株式の数(株)	10,098,175	10,097,990

2 1株当たり当期純損失金額の算定上の基礎

項目	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
連結損益計算書上の親会社株主に帰属する当期純損失(千円)	△418,645	△280,171
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純損失(千円)	△418,645	△280,171
普通株式の期中平均株式数(株)	10,098,827	10,098,012

(重要な後発事象)

(第三者割当による新株式の発行)

当社は、2020年4月2日開催の取締役会において、第三者割当による新株式の発行（以下、「本第三者割当増資」といいます。）を行うことについて決議いたしました。なお、第三者割当による新株式の発行については、2020年4月17日に払込手続きが完了しております。

その概要は以下のとおりであります。

①発行新株式数	普通株式 714,000株
②払込金額	1株につき140円
③払込金額の総額	99,960,000円
④増加する資本金の額	99,960,000円
⑤募集又は割当方法	第三者割当の方法により、HDD SINGAPORE PTE. LTD. に714,000株を割り当てる。

なお、本第三者割当増資の詳細につきましては、2020年4月2日付当社プレスリリース「第三者割当により発行される新株式の募集に関するお知らせ」をご参照ください。